

東日本大震災復興支援

東北の芸能Ⅳ

伝承の技、

つながる心

〔岩手・宮城・福島3県の沿岸地域より〕

東北・関東地方に甚大な被害を与えた東日本大震災から2年半の時間が経ちましたが、被災地の多くはまだ現状復帰すら程遠い状況の中、震災被害と向き合っています。

国立劇場では、平成24年6月民俗芸能公演より、復興支援の一環として3回にわたり「東北の芸能」公演を上演し、それぞれ岩手、宮城、福島各県の芸能を紹介してきました。

今回はその4回目として、これまでの公演で紹介できなかった各県の芸能から選りすぐりの8つの芸能をご紹介します。

各地に伝承される芸能を力強く演じる人々の姿を多くの方々にご覧いただくことで支援の輪がさらに広がっていくことを願っています。

【1時の部】

福島県 いわき市

御宝殿の稚児田楽・風流
〔御宝殿熊野神社田楽保存会〕



宮城県 気仙沼市

小鯖神止り七福神舞
〔小鯖神止り七福神舞保存会〕



宮城県 石巻市

牡鹿法印神楽
〔牡鹿神楽古実会〕



岩手県 山田町

大浦さんさ踊り
〔大浦さんさ踊り〕



【4時の部】

福島県 相馬市

相馬民謡
〔相馬民謡同好会〕



福島県 南相馬市

北萱浜の天狗舞
〔北萱浜神楽愛好会〕



宮城県 東松島市

大曲浜獅子舞
〔大曲浜獅子舞保存会〕



岩手県 普代村

鶺鴒神楽
〔鶺鴒神楽保存会〕



人々の間で歌い継がれてきた民謡。相馬地方には「相馬盆唄」「相馬流れ山」など数多くの歌が伝わります。

北陸からの入植者が伝えたと言われます。天狗舞や天狗と獅子が太刀で斬り合う剣舞等、見所の多い舞です。

漁師町に伝わる男壮で豪快な獅子舞です。舞の間に「浜甚句」「青太郎節」を歌うなど地域色豊かに演じます。

春の訪れとともに三陸沿岸の村々を巡ります。権現様を奉じるほか、数多くの演目を伝える山伏神楽です。

平成26年1月25日(土) 1時/4時開演

●入場料金(全席指定)
一般 3,000円/学生 2,100円

※障害者の方は2割引です。詳細はチケットセンターまでお問い合わせください。/※車椅子用スペースがございます。ご予約時にお問い合わせください。

●予約開始=11月11日(月)午前10時~

[電話] 国立劇場チケットセンター (10時~6時)

0570-07-9900 03-3230-3000

(PHS・IP電話)

●窓口販売開始=11月12日(火) (チケット売場 10時~6時) ※窓口販売用に別枠でのお取り置きはございません。

●一般のみ取扱 チケットぴあ 0570-02-9999

[インターネット] (一般券のみ)

パソコン <http://ticket.ntj.jac.go.jp/>

スマートフォン <http://ticket.ntj.jac.go.jp/m>

この公演はインターネット予約の際、座席選択をご利用いただけます。 ※詳細は上記ホームページをご覧ください。

